



吉岐高便り 第126号

発行責任者
山口 千樹



携帯サイトへ

長崎県立吉岐高等学校 長崎県吉岐市郷ノ浦町片原触88 [TEL]0920-47-0081 [HP] <http://www.iki-high.jp/>

巻頭言

天職に就こう！

校長 山口 千樹



世の中には『天職』というものがあるそうです。神様がくださった、その人にぴったりで、いくらやっても楽しくて、ちっとも苦しくない仕事です。皆さんは、そういう仕事に就きたいと思いませんか？

天職に就く方法について、ノーベル賞学者の江崎玲於奈さんが、かつて県内の高校生に語っていますので、紹介します。

江崎さんは「『天職』を見つけることが、若い皆さんの課題だと思います。人間の能力というのは、「天性」と「育成」の二つで決まります。自分が持って生まれた天性をいかに育成するかということが問題です。まずは、自分の天性を知ってほしい。天性を知らないと育成することができないからです。そして、自分自身を受け身ではなく、主体的に教育してほしいのです。」と語られました。

この話は、ご自身の体験からきています。高校受験に失敗した江崎さんは、入学した高校で出会った先生や友達の影響を受けて技術者を目指すようになり、ソニーという会社に入社しました。ここで江崎さんは、技術者という天職に出会い、仕事に没頭しているうちに、「エザキダイオード」を発明してノーベル賞を受賞したのです。

皆さんも、高校生活に精一杯取り組んで、自分の天性を発見し育成してほしいと思います。皆さんが天職に出会えることを祈っています。

決意新たに ～平成28年度入学式～



去る4月8日、本校体育館で入学式が挙行政され、第71回生168名の入学が許可されました。厳粛な雰囲気の中で、新入生の皆さんは吉岐高生としての自覚と誇りを胸に刻み、高校生活の充実を心に誓っていました。



生徒指導部より

新学期が始まりました。皆さんには「愛される吉岐高。応援される吉岐高」を目指し、校内外を問わず、自分自身を律し、責任ある行動ができる人になってほしいと思います。そのためには、目標に真剣に向かうことが必要になります。新年度に入り、新しい目標を立てましたか。目標に辿り着くには、今何をすべきなのかをプランニングすることが大切です。1年後、無事に目標を達成し成長した姿を見せてください。まずは、学校スローガンの「凡事徹底」からはじめましょう。

生徒会・美化部より

新しい年度がスタートしました。生徒会では、今年度も、文化祭や球技大会などのさまざまな行事や取り組みを計画しています。生徒会は吉岐高校在籍生徒全員を構成員としている組織です。全生徒が生徒会の一員として自覚し、学校行事だけではなく様々な取り組みに積極的に関わっていきましょう。それらの取り組みを通して、自主性・主体性を育ててほしいと思います。

また、「環境は人をつくる」と言います。環境の整備と保全に努め、より良い環境で学校生活を送りましょう。さらに、生徒会では

節水や節電を重点的に取り組みたいと考えています。「こまめに消灯する」「手洗い場などで水を流しっぱなしにしない」など、日ごろの生活の中で、改善すべき点があれば改善し、節水・節電に心がけていきましょう。

進路指導部より

進路指導室は「情報」の宝庫です。大学、専門学校、就職など、進路に関する情報誌や学校案内、募集要項、赤本（各大学の過去問題集）などがあります。情報検索用のパソコンも設置してあります。さまざまな情報を入力することで視野を広げ、自身の進路実現について深く考えることができます。昼休みや放課後の時間にどんどん利用してください。

進路室内のものは閲覧のみで貸し出しは行いませんが、必要に応じて、設置してあるコピー機を利用することができます。特に3年生の皆さんは「赤本」や新聞切抜き集のコピーなどを積極的に行って、入試に向けて早めの準備をすることをお勧めします。（コピーは有料です。片面1枚につき10円）

また、1年生の皆さんは文理選択、2年生の皆さんは学部学科研究や就職公務員試験対策の書物を読むなどして、進路意識の向上を図ることもできるでしょう。進路室は皆さんの来室を待っています。

東アジア歴史・中国語 コース

東アジア歴史・中国語コースは、今年度**10名**の離島留学生を含む**13名**の新**1年生**を迎え、**2年生9名**と**3年生3名**を合わせて**25名**がこのコースで学ぶことになりました。

4月8日には吉岐文化ホールで入市式が行われ、離島留学生を代表して仲野文也君が決意表明をしてくれました。**12日**には第**1回**コース交流会を開催し、コース生全員で友情の輪を広げました。校長先生からの激励の言葉の後、**3年**の佐藤悠喜君が中国語を交えながら歓迎の挨拶を、**1年**の西島菜純さんが新入生代表挨拶を行いました。

歴史学と中国語の専門性を生かした特色ある進路実現に向けて、生徒・保護者・里親・教師の4者が一丸となって日々努力していきたいと思ひます。



新転任者紹介

4月の人事異動により、新たに11名の職員が本校に着任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

5月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

1	日	
2	月	
3	火	【憲法記念日】
4	水	【みどりの日】
5	木	【こどもの日】
6	金	木曜授業 考查時間割発表 部活動休止 ~5/12
7	土	★①②③ 第2回公務員模試③ 第1回高 看模試③
8	日	PTA総会
9	月	在福岡米国領事館主席領事講演会 (② ③文系)
10	火	
11	水	【代休5/8】
12	木	中間考查 ②③
13	金	中間考查①②③
14	土	
15	日	
16	月	内科検診①
17	火	内科検診①
18	水	歯科検診①②③
19	木	
20	金	
21	土	中国語スピコン②③(北九州)
22	日	
23	月	【短縮授業】(~6/2木) 内科検診③
24	火	内科検診③
25	水	
26	木	体育部主将会 行進練習(~6/2)
27	金	
28	土	高総文祭吹奏楽~29
29	日	
30	月	
31	火	水の1~6校時 高総体・野球部推戴式 (7校時)

●校長

山口 千樹



高校教育課より

● 寺田 紀美子



国語

国見高校より

● 坂井 泉子



音楽

波佐見高校より

● 川上 吉彦



理科

壱岐商業高校より

● 皆良田 憲明



体育

佐世保北高校より

● 緒方 則彦



理科

北陽台高校より

● 王 佳



中国語

上海より

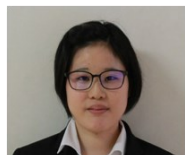
● 城下 駿太



地歴

五島海陽高校より

● 下野 真由子



理科

新任

● 小森 雄志



事務

西陵高校より

● 渡邊 揮一



事務

新任

第3学年より

いよいよ3学年が始動しました。スムーズな69ットスタートが切れていますか？今年の学年の目標は、「69回生全員が希望の進路を実現すること」です。最高学年として、部活動を最後までやり遂げ、学校行事にも全力投球し、悔いのない高校生活を送ってください。辛いことがあっても一致団結すれば、乗り越えられるはずです。One team, one family, one dreamを合い言葉に、69回生らしく前向きに直向きに努力を続けてください。頑張るみんなを、学年団の先生方は全力でサポートします。保護者の皆様におかれましては、毎日のお弁当作りや送迎などありがとうございます。今年度もご家庭での温かい励ましをどうぞよろしくお願い申し上げます。

第2学年より

平成28年度がスタートしました。先日の学年通信でお伝えしたように、156名の生徒が2年生に進級し、70回生職員14名共々1年間頑張っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【保護者の皆様へ】

GW～6月はじめの高総体に向け、部活動の厳しさが増していくと思われます。また、学業でも文系地歴のB科目や理系理科の専門科目など新科目が始まりました。心機一転学習に励もうという生徒も多くいます。燃え尽

きや5月病傾向に対し、何か不安に思われる状況がありましたら、いつでも担任までご連絡ください。

【70回生へ】

3年生と部活動ができるのもあと1ヶ月。先輩から様々なことを学びましょう。学習へのやる気が高まっている生徒も多くいます。与えられるのを待たずに、自分から動いて沢山のものを得よう！

第1学年より

入学してひと月が過ぎようとしています。生徒たちのご家庭での様子はいかがでしょう。慣れない事が多いながらも学業や部活動に興味、関心を示しながらよく励んでいますし、また、新しい友人もでき、徐々に不安を解消していっているようにも見えます。宿泊研修は相当ハードな内容でしたが、全員が最後まで楽しく、真剣に取り組んでおり、これからの期待を持てる有意義なものであったと実感しています。今後は、実力試験や早朝補習、学校行事も続き、本格的な高校生活となっていくますが、進路実現のためにはこの厳しさを耐え抜くことが大切になってきます。これまでの先輩たち同様、本物の吉崎高生となるべく、ご家庭でもお子さんの体調管理と激励やご指導をお願いします。また、5月にはPTA総会、6月には文理選択説明会を計画しておりますので、たくさんご参加いただきますようお願いいたします。

中国語講師の王佳先生から

この度上海市教育委員会に推薦され中国語講師として赴任致しました。私は中国では18年間日本語教師を担当していて、学部21クラス計850人の生徒の指導を担当してきました。しかし、日本の学生と触れ合うのは初めてで緊張しています。日本には6回目ですが、この2週間でイメージがからりと変わりました。

一つ目は「環境に対する優しさ」です。吉崎に来て最初はゴミの分別が分からなくて、3日間もゴミを家に置いたまま過ごした経験があったので、ゴミ分別に対する厳しさを感じたとともに環境に優しいことが印象深かったです。

二つ目は「仕事の勤勉さ」です。周りの先生は残業が多く、部活と試合のために土日も連続で休むことなくコツコツと努力している様子に感動しました。

今後とも中日文化の相違点を発見し、「長所を取り入れ、短所を補う」という考えで日本での生活に早く慣れていきたいです。

